



次は世界が舞台！ 春高バレーのエース池田選手がアジア大会出場

先に行われた春高バレーでチームを全国2位まで導いた、鎮西高校のエース池田隼平選手（高校3年、赤水）が、全日本ユースの代表に選ばれ、5月13日から、イランの首都テヘランで開催される第8回アジアユース男子選手権大会に出場します。ユースとは全日本代表選手の青年層のチームで、県内では池田選手が1人（九州内で5人）選ばれました。その中でも池田選手は2枚エースの1人を担った名アタッカー。日本の勝利は池田くんにかかっていると言っても過言ではありません。阿蘇北中からバレーを始め、わずか5年、17歳で日の丸を背負い試合に挑む池田選手に、応援よろしくをお願いします。



▲代表して阿蘇中学校生徒会長の園田麻由美さん（3年）に清竹健一店長より贈呈されました。

ボランティア団体などを応援

イオン九州株式会社ホームワイド阿蘇店ではボランティア団体などにギフトカードを寄付するキャンペーンを行い、その贈呈式が4月11日行われました。このキャンペーンは、毎月11日のレシートを黄色に変え、お客さんの希望する登録団体のボックスに投入してもらい、そのレシート金額の1%を登録団体に寄付するというもので、登録されている阿蘇中学校、音声ボランティアかけはし、同じくカナリアの会、日本ダウン症協会に今回贈られました。なお、登録団体は今後も募集するとのことです。

龍馬愛好家が足跡辿り歩き旅

全国龍馬社中と(社)日本ウォーキング協会が主催した龍馬の足跡を辿る「龍馬飛翔ウォーク」の参加者一行が4月10日阿蘇市入りし、龍馬と同じく内牧に宿泊、翌日、的石御茶屋、二重峠石畳を歩き大津へと向かいました。この催しは龍馬が幕末、大阪から長崎へ向った約230^{km}の道のりを歩いて旅しようというもので12日間の行程で実施されました。主催した全国龍馬社中とは、龍馬を尊敬し慕う日本全国、世界各国で活動している大きな組織で、会長である橋本邦健氏（高知県）も今回参加されました。



龍馬が来たことをまちの魅力にする活動をしている阿蘇市観光協会も一行を歓迎し、交流を深め大変喜ばれました。

11,000本の植樹！



小倉にある「阿蘇大観の森」で4月10日、肥後銀行及び財団法人肥後の水とみどりの愛護基金による植樹が行われました。

この日は天候にも恵まれ、銀行関係職員やその家族、ボランティアなど約850人が参加し、ヤマザクラやモミジなど総数11,000本を植えました。

この「阿蘇大観の森」での植樹は、水源かん養林の保全・育成の目的で平成13年から行われ、今年で5回目。これまで74,750本が植えられています。